

8日  
F15派遣中止を

小松基地に要求

2018.6.8  
県平和運動センター

航空自衛隊小松基地のF15戦闘機が、米空軍の多国間軍事演習「レッド・フラッグ・アラスカ」に参加することを受け、県平和運動センターなどは七日、小松基地に演習への参加中止を求めた。



センターの本田良成共同代表（左から九人が基地を訪

申し入れ書を手渡す本田良成共同代表④＝小松市の小松基地で

れ、門間政仁司令宛での申し入れ書を提出した。小松基地から五日、六機のF15戦闘機が発発しており、本田共同代表は「演習への参加は明らかに戦争の準備であり、憲法に違反する」などと訴えた。一行は小松市役所も訪れ、和田慎司市長に申し入れ書を提出した。

演習は八月二十三日に米国アラスカ州のアイルソン空軍基地であり、小松基地からの参加は五年ぶり六回目。空自からは小松、浜松、小牧の三基地から計二百九十人の隊員が臨む。

(青山直樹)

2018.6.8  
IC  
◆演習参加中止申し入れ

県平和運動センターなど6団体は7日、航空自衛隊小松基地第6航空団のF15戦闘機が米空軍の多国間演習「レッド・フラッグ・アラスカ」に参加するのは憲法違反だとして、演習参加を中止するよう同基地と小松市に申し入れた。